

- 問1 東京都には多くの企業の事業所や大学が集中しているため、周辺の各県から多くの人々が移動してきます。このような都市機能の集中が東京都の人口動態に与えている影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 奈良県公立入試 類似)
- 交通網の発達により、地方都市から東京都への通学が容易になったため、東京都内にある大学の数は減少傾向にある。
 - 高度な経済機能が集中した結果、地方からの人口流入が止まり、東京都と周辺の県との間での人口移動はほとんど見られなくなっている。
 - 企業の事業所や大学が都心に集まっているため、周辺の県から東京都へ向かう通勤・通学者が多く、昼間の人口が夜間の人口を大きく上回っている。
 - 都心の地価が高騰した影響で、居住地が郊外へ広がり、都心部の夜間人口が周辺の県に比べて極端に多くなっている。
- 問2 茨城県などのように大都市に隣接する地域で行われている、大消費地に近いという立地条件を最大限に生かし、鮮度が重視される野菜などを生産して出荷する農業形態を何と呼ぶか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
- 二毛作
 - 促成栽培
 - 近郊農業
 - 抑制栽培
- 問3 神奈川県藤沢市にある江の島は、干潮時に沿岸流が運んできた砂が堆積し、本土と地続きになることがあります。このように、島と陸地が砂州によってつながった地形を何と呼びますか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- トンボロ (陸繋島)
 - カルスト地形
 - 砂嘴
 - リアス海岸
- 問4 茨城県や千葉県などは、首都圏という巨大な市場の近くに位置していることから、野菜の生産量が全国でも上位にあります。これらの地域で近郊農業が発達している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 岡山県公立入試 類似)
- 輸送距離が短いため、鮮度の高い野菜を低い運賃で市場に供給できるから。
 - 標高の高い冷涼な土地を活かして、夏でも涼しさを好む野菜を生産できるから。
 - 広大な土地を利用して、航空機や大型機械を導入した効率的な生産を行えるから。
 - 温暖な気候を利用して、他の地域よりも収穫時期を意図的に早めることができるから。
- 問5 関東平野の台地に広く分布している、かつての火山活動によって放出された火山灰が偏西風で運ばれ、長い年月をかけて堆積した赤土の地層を何と呼びますか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- 沖積層
 - マサ土
 - シラス
 - 関東ローム層
- 問6 横浜市、川崎市、さいたま市などは、東京都心部へ通勤・通学する人々が多く住む「ベッドタウン」としての性格を持っています。これらの都市の人口統計における一般的な傾向として、正しいものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
- 他地域からの通勤者が非常に多いため、昼間人口と夜間人口がほぼ一致する。
 - 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。
 - 夜間に都心部へ移動する人が多いため、夜間人口が極端に少なくなる。
 - 昼間人口が夜間人口を大幅に上回り、昼夜間人口比率が200%を超える。
- 問7 東京都の23区内では、住民登録をしている居住者の数に、周辺の県から通勤や通学によって流入する人を加え、そこから区外へ出る人を差し引いた人口が、居住者の数よりも大幅に多くなります。このように、日中の経済活動が行われている時間帯における人口を何と呼びますか。 (2016年 三重県公立入試 類似)
- 夜間人口
 - 労働力人口
 - 昼間人口
 - 生産年齢人口
- 問8 茨城県、栃木県、群馬県の3県にまたがり、内陸部における高速道路網の整備を背景に、1960年代以降、日本の製造品出荷額等において占める割合を大きく伸ばしてきた工業地域はどこか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- 阪神工業地帯
 - 北関東工業地域
 - 京浜工業地帯
 - 北九州工業地域
- 問9 関東地方の各都県における大学数の分布を、1つの正方形の記号を10校として地図上に配置する統計地図で表現するとします。群馬県の大学数が14校、茨城県の大学数が10校であるとき、この地図上で用いられる正方形の数や表現の説明として適切なものを選びなさい。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
- 群馬県は正方形14個分、茨城県は正方形10個分として表現される。
 - 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形0.1個分として表現される。
 - 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。
 - 群馬県は正方形4個分、茨城県は正方形0個分として表現される。
- 問10 千葉県の太平洋側に位置する九十九里浜は、弓状の平坦で単調な海岸線が約66kmにわたって続いています。川から運ばれた土砂や、周辺の海食崖が削られて生じた砂が堆積して形成された、このような地形を何と呼びますか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)
- 干拓地
 - 砂浜海岸
 - リアス海岸
 - フィヨルド
- 問11 千葉県は、昼間人口比率が約89.7となっており、全国的に見ても夜間人口に比べて昼間人口が少ない傾向にあります。このような人口動態が千葉県などの大都市周辺の県で顕著に見られる背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- 成田国際空港の利用客や観光客が昼間に多く流入するものの、それ以上に夜間の居住者の増加ペースが速いから。
 - 東京の都心部にある企業や学校へ通う人が多いため、昼間は県外へ流出する人口が流入する人口を上回るから。
 - 京葉工業地域などの臨海部に職住近接の住宅街が形成され、県内での移動のみで生活が完結する世帯が増えたから。
 - 高度経済成長期に整備されたニュータウンの高齢化が進み、県内での生産活動に従事する現役世代が減少したから。
- 問12 関東地方に位置する群馬県の農業において、統計上の農業産出額で野菜や畜産の占める割合がコメに比べて非常に高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
- 冷涼な気候を活かした稲作が中心であり、他の関東地方の県に比べてコメのブランド化による収益が野菜を上回っているため
 - 高速道路網などを活用して、近隣の大消費地へ鮮度の高い野菜や畜産物を供給する近郊農業や輸送園芸農業が発達しているため
 - 広大な平野部を利用した大規模な機械化によって、輸出を目的とした小麦やコメの生産に特化した農作業が行われているため
 - 土地が痩せていて稲作が全く不可能なため、県内の全ての農地を牧草地やビニールハウスに転換し、畜産と野菜のみを生産しているため
- 問13 標高約1000mに位置する群馬県嬬恋村と、海岸付近に位置する千葉県銚子市のキャベツ生産を比較したとき、嬬恋村の出荷時期における工夫として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- 大消費地に隣接している利点を活かし、鮮度を保つために一年中一定の量を出荷する。
 - 冬の温暖な気候を活かし、他の地域よりも早い1月から3月に出荷を早める。
 - 標高が高く雪が多いため、冬の間に温室ハウスを用いて出荷時期を春にずらす。
 - 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 企業の事業所や大学が都心に集まっているため、周辺の県から東京都へ向かう通勤・通学者が多く、昼間の人口が夜間の人口を大きく上回っている。	東京一極集中の具体的な状況を説明した問題です。東京都には就職先となる事業所や教育機関である大学が極めて多いため、近隣の神奈川・千葉・埼玉などの各県から毎日多くの人が通勤・通学のために流入します。このため、東京都（特に都心部）では、夜間に住んでいる人口よりも、昼間に活動している人口の方が多くなるという特徴が生じます。
問2	答え 3 近郊農業	大都市という大きな市場（大消費地）に近い場所で行われる農業を近郊農業と呼ぶ。消費地までの輸送距離が短いため、鮮度の落ちやすい葉もの野菜などを新鮮なうちに届けられるほか、輸送費を安く抑えられるという利点がある。茨城県などはこの形態を活用して首都圏へ多くの農産物を供給している。
問3	答え 1 トンボ口（陸繋島）	沿岸流によって運ばれた砂が、島と対岸の間に堤防のように堆積したものを砂州と呼びます。この砂州によって島が陸地とつながった状態、またはその地形そのものをトンボ口（陸繋島）といいます。江の島は日本における代表的なトンボ口の例として知られています。
問4	答え 1 輸送距離が短いため、鮮度の高い野菜を低い運賃で市場に供給できるから。	近郊農業の最大のメリットは、消費地までの物理的な距離が近いことです。これにより、トラックなどによる輸送時間を短縮して鮮度を保ったまま出荷できるほか、長距離輸送に比べて運送費を安く抑えることが可能になります。
問5	答え 4 関東ローム層	富士山や箱根山などの噴火によって噴出した火山灰が関東平野の台地に降り積もって形成されました。鉄分が酸化しているため赤みを帯びた土色をしており、水はけが良いという性質を持っています。
問6	答え 2 昼間人口よりも、そこに居住している夜間人口のほうが多い。	ベッドタウンと呼ばれる周辺都市では、朝の時間帯に都心のオフィスや学校へ向けて多くの住民が移動（流出）します。その結果、昼間にその都市に残っている人数は、夜間にそこで寝泊まりしている居住者数よりも少なくなります。つまり、昼夜間人口比率（夜間人口に対する昼間人口の割合）が100%を下回るのがこれらの都市の特徴です。
問7	答え 3 昼間人口	東京都の区部などの大都市中心部では、オフィスビルや大学などの教育機関が密集しています。そのため、朝から夕方にかけて周辺の県から多くの人が鉄道などを使って移動してきます。このような日中の活動時間帯の人口を「昼間人口」と呼び、実際にその地域に住んでいる「夜間人口（常住人口）」と比較することで、その地域の都市としての機能の強さを測ることができます。
問8	答え 2 北関東工業地域	この地域は、従来の沿岸部に発達した四大工業地帯とは異なり、東北自動車道や関越自動車道などの高速道路沿いに工場が分散・進出したことで発展しました。1960年には全国の出荷額の3.3%に過ぎませんでしたが、2014年には9.2%にまでそのシェアを拡大させています。
問9	答え 3 群馬県は正方形1.4個分、茨城県は正方形1個分として表現される。	統計地図において、一定の数値を1つの図形（単位図形）で置き換えて表す手法では、実際の数値を単位となる数値で割ることで、配置する記号の数を算出します。この場合、10校を1個の正方形とするため、14校ある群馬県は $14 \div 10 = 1.4$ 個、10校ある茨城県は $10 \div 10 = 1$ 個の正方形を用いることで、地域ごとの大学数の多寡を視覚的に比較しやすくしています。
問10	答え 2 砂浜海岸	千葉県のカサガタ岬は、日本を代表する砂浜海岸の一つです。山地が沈水して複雑な入り江を作るリアス海岸とは異なり、砂が堆積することで平坦で単調な景観が作られるのが特徴です。カサガタ岬は背後に広大な平野（カサガタ平野）を伴っており、古くから地引網漁なども盛んに行われてきました。
問11	答え 2 東京の都心部にある企業や学校へ通う人が多いため、昼間は県外へ流出する人口が流入する人口を上回るから。	千葉県は東京の郊外に位置しており、優れた交通網を背景に多くの人々が東京23区内へ通勤・通学しています。昼間はこれら多くの住民が県外へ移動するため、県内に留まる、あるいは県外から流入する人口を、流出する人口が大きく上回ります。その結果、昼間人口比率が100を下回り、90未満という極めて低い数値を示す要因となっています。
問12	答え 2 高速道路網などを活用して、近隣の大消費地へ鮮度の高い野菜や畜産物を供給する近郊農業や輸送園芸農業が発達しているため	群馬県は、東京などの大都市圏に近いという地理的条件（市場近接性）を最大限に活用しています。キャベツなどの高原野菜や、豚・乳牛などの畜産業は、輸送距離が短いほど鮮度が保たれ、コストも抑えられるため、コメよりも収益性の高い野菜や畜産に力を入れる農業構造が定着しました。
問13	答え 4 夏の冷涼な気候を活かし、平地での生産が困難になる7月から10月にかけて出荷量を増やす。	嬬恋村は標高が高く、夏場でも気温が低いという地理的利点があります。平地の産地では気温が上がらずにキャベツの品質が落ちる7月から10月の時期に、嬬恋村は出荷のピークを合わせることで、市場における競争力を高めています。このように出荷時期を遅らせる栽培方法は、暖かい気候を利用して出荷を早める「促成栽培」とは対照的な特徴を持ちます。